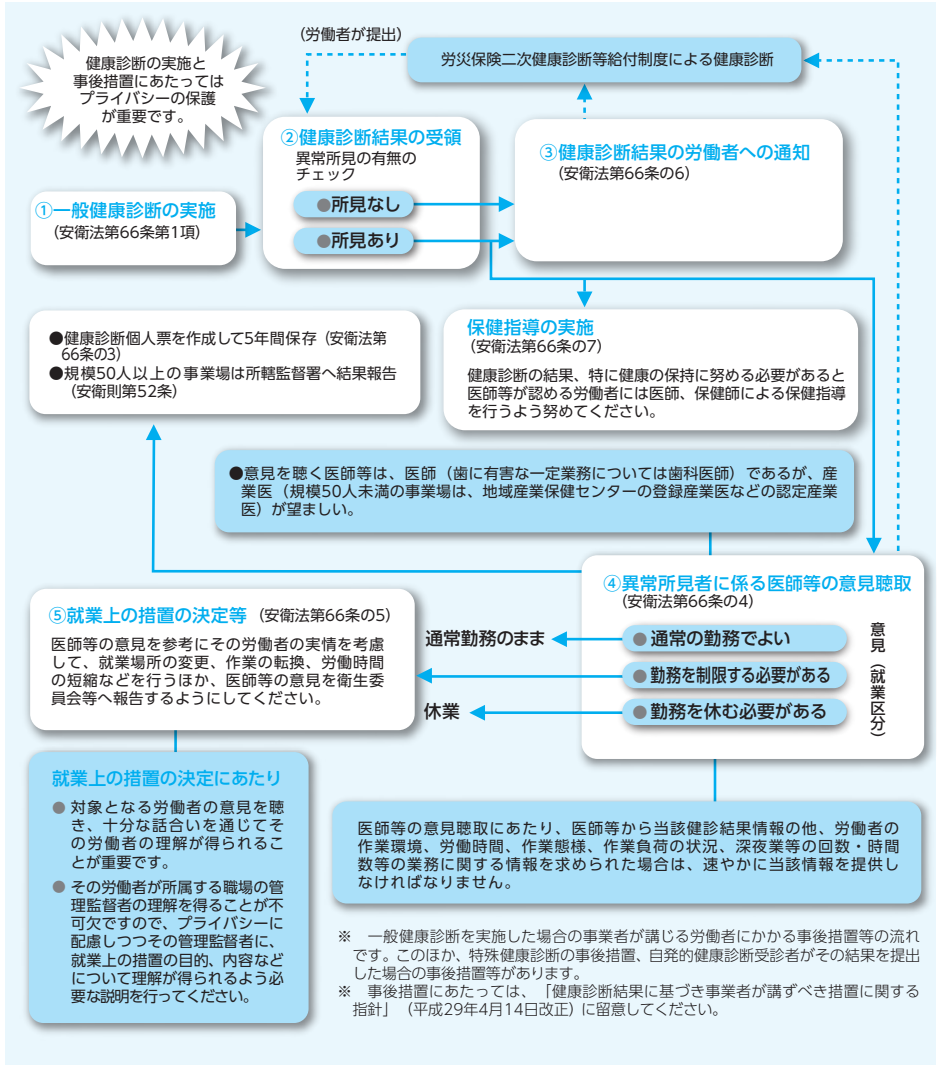


4. 一般健康診断の実施と事後措置の概要

一般健康診断とその後の流れ



(2) 定期健康診断 [安衛則第44条]

常時使用する労働者に対し、1年以内ごとに1回、定期健康診断（下表の項目）の実施義務があります。

- ①定期健康診断は、労働者が雇入時健康診断や海外派遣労働者健康診断等を受診している場合は、当該健康診断実施日から1年間に限り、その者が受診済の同一項目に限り省略できます。
- ②定期健康診断を実施すべき時期に、労働者が、育児休業、療養等により休業中の場合には、定期健康診断を実施しなくてもさしつかえありませんが、この場合、休業終了後は速やかに当該労働者に対し、定期健康診断を実施しなければなりません。

健康診断項目（詳細等は雇入時の健康診断項目参照）	下記基準に該当し、かつ、 <u>医師</u> が必要でないと認めるときは、省略等が可能。
1. 既往歴及び業務歴の調査	省略不可
2. 自覚症状及び他覚症状の有無の検査	省略不可
3. 身長、体重、腹囲、視力及び聴力の検査	身長：20歳以上の者 ----- 体重：省略不可 ----- 腹囲：下記のいずれかに該当する者 一 40歳未満の者（35歳の者を除く。） 二 妊娠中の女性その他の者であって、その腹囲が内臓脂肪の蓄積を反映していないと診断された者 三 BMI（体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)）が20未満である者 四 自ら腹囲を測定し、その値を申告した者（BMIが22未満の者に限る。） ----- 視力：省略不可 ----- 聴力の検査：45歳未満の者（35歳及び40歳の者を除く。）については、左記以外の医師が適当と認める方法(音叉による検査等)でも可。（聴力の検査自体の省略は不可）
4. 胸部エックス線検査及び喀痰（かくたん）検査	胸部エックス線検査：40歳未満の者（20歳、25歳、30歳及び35歳の者を除く。）で、下記のいずれにも該当しない者 一 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行令第12条第1項第1号に掲げる者 二 じん肺法第8条第1項第1号又は第3号に掲げる者 ----- 喀痰（かくたん）検査：下記のいずれかに該当する者 一 胸部エックス線検査によって病変の発見されない者 二 胸部エックス線検査によって結核発病のおそれがないと診断された者 三 胸部エックス線検査の省略基準に該当する者
5. 血圧の測定	省略不可
6. 貧血検査	40歳未満の者(35歳の者を除く。)
7. 肝機能検査	40歳未満の者(35歳の者を除く。)
8. 血中脂質検査	40歳未満の者(35歳の者を除く。)
9. 血糖検査	40歳未満の者(35歳の者を除く。)
10. 尿検査	省略不可
11. 心電図検査	40歳未満の者(35歳の者を除く。)